

令和元年 青年会本山研修会開催



6月7日～9日、2泊3日の行程で青年会本山研修会（参加者40名）が開催されました。開講式に続き、本山の沿革や御宝前の由縁を学び、夜のプログラムでは「自坊でもできるレクリエーション」を体験しながら学びました。

2日目は由緒寺院である長松寺、誕生寺、そして開講聖地に参詣。続いて「御講有に聞いてみよう」と題した特別講義。参加者の忌憚のない質問に、御講有が丁寧にお答えくださいました。中には、涙を流しながら御講有のお言葉に耳を傾ける参加者もあり、大変有難く、有意義なプログラムとなりました。

他にも「紙芝居御法門」「海外弘通と佛立再発見」「ご信心は本堂に必要？」有ると無いとで自立が変わる！」について学びました。何より有難かったのは本山御宝前でのお看経です。それぞれに「功德」という掛け替えのない宝物と、新しい信友という繋がりを持ち、帰路へと着きました。

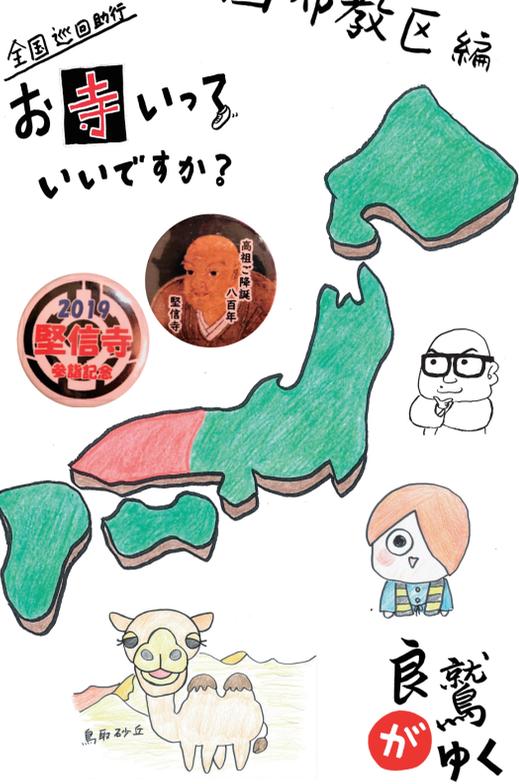


信聖寺

木造の立派な本堂で丸柱がピカピカに輝いていました。お教務さんに太鼓を打っていただき大盛り上がりのお助行でした。イチゴ狩り等の行事の写真が貼ってあり薫化会活動も充実の様子でした。



中国布教区編



鳥取妙清寺

ご信者方と異体同心の御看経が上がりました。平成14年に建った近代的な本堂が素晴らしかったです。オリジナル祈願札台は御信者の手作りだそうで、言上しやすい様に工夫がされていました。納骨堂の和モダンな御荘厳も素敵でした。



信聖寺 倉吉別院

山の中にある別院。藤田お講師が御宝前をお護りされています。ご信者同士が異体同心で仲良くご奉公されている様子が大変有り難く思いました。



津山妙津寺

御前机が光っていました。お給仕が行き届いていると感じました。秋山御住職に刺激されて、負けじと声を張り上げ御看経をさせていただきました。皆さん熱心に激励を聞いていただきました。



発行日 2019年8月1日
発行：本門佛立宗弘通局



中国布教区 妙津寺 西尾 誠さん



今田雄紀さんは二代目のご信者です。金丸御本尊を支える雲には龍が舞い、挿んでいる玉は彩色されていて素晴らしい御荘厳でした。若いご信者をお育てするにはどうすれば良いかという話題で盛り上がりました。

妙津寺の目の前に住んでおられる西尾さんは、いまから十六年ほど前、先住の奥様からお声をかけられて以来お寺にお参りされるようになりました。毎日のように開門参詣をされ、半年経った頃には御宝前へのお給仕もされるようになりました。いまでは妙津寺の御宝前のことなら西尾さんが誰よりも詳しく、ピカイチの御宝前係としてご奉公に励まれています。



妙清寺・ご信者宅巡回助行

大橋幸さんは組長さんです。お掃除の行き届いた御宝前が印象的でした。熱烈なお看経が上がりました。

妙津寺・ご信者宅巡回助行

水島順子・禮子さんは姉妹のご信者で、熱心にご奉公されています。姉の順子さんのお舅さんが骨董を扱われていたこともあり、立派な宣徳の花器が印象的でした。

御藤伸通さんは二代目のご信者です。リーズン入りバターの効いたポテトサラダなど美味しいお供養をいただきました。その後、お看経もしっかりさせていただきました。

安部啓子さんは三代目のご信者で、ご主人をお教化され、今では家族で熱心にご奉公されています。シッカリお看経が上がりました。

安藤農生男さんは三代目のご信者で車屋さんです。お仕事の手を止めてお助行を受けていただきました。お寺の御宝前の照明を新たにこ有志され、自宅の御宝前も得意の手先を活かし立派にお荘厳されています。

